

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20 一文芸 2
-----------------	----------

平成 20 年度配分 研究成果の概要

研究名	ユニバーサルデザインの地域での実践に向けて その3				
配分を受けた 特別研究費	特別研究費				1750 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名 (研究科名)	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	空間造形学科	教授	古瀬 敏	国内外との連絡調整、まとめ
共同研究者	文化政策学部	文化政策学科	教授	根本 敏行	地域との連絡調整、自治体施策等の検討
発表の方法 (予定で可)	① 紀要		号数	第 10 号 (2010年3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	③ その他 文化・芸術研究センターニューズレター 「文化と芸術」、Vol.9 にて速報報告済み。		発表日 (発表 予定日)	平成 21 年 3 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

大学の建学の理念として位置づけられているユニバーサルデザインを、地域での実践につなげていくため、文化・芸術研究センターを中心として発信するとともに、研究グループを構築し運営していく手法を検討する。これは、平成 17 年度末にまとめられた「センターのあり方に関する検討報告書」を踏まえようとするものである。

平成 20 年度は、18 年度のユニバーサルデザイン国際セミナー実施の成果、19 年度の検討の成果等もふまえて研究を継続する。

とくに、平成 20 年度は静岡県が UD を施策として打ち出してから満 10 年であり、その間の成果と今後の方向を、県とともに考えていく。

(研究の実施方法等)

- 1) 本学の UD 研究ポテンシャルの地方自治体施策への反映方策検討
- 2) 静岡県、浜松市等での UD 施策検討の場への参画
- 3) 平成 20 年度に予定されている静岡国際 UD セミナー(仮称)へのインプット検討と実践

(得られた成果等)

- 1) 静岡県と浜松市における UD 施策実施に際して、提言が反映された。
- 2) しずおかユニバーサルデザイン国際シンポジウム(平成 20 年 11 月 13 日、14 日)を開催し、成果を発表・議論した。